

水って何色？

横浜市立篠原中学校

三年 矢部 宮瑚

みなさんが当たり前のように目にしている、口にしているその水は何色だろうか。きっと多くの人が透明、青などと答えるだろう。しかしそう答えられるのも世界的に見るとあと二十年前後だと言われている。これは大変な問題だ。私がこの問題について考えるようになったのはある四年前の出来事がきっかけだ。

四年前、私はアフリカに住む六歳の少女と手紙でやりとりをしていた。その少女の住む国、ギニアでは水質汚染が大きな問題となっていた。実際にそんなギニアの水問題について気になった私は、インターネットで調べてみた。するとギニアの水質汚染の原因のほとんどがゴミ問題とつながっているということが分かった。ギニアやアフリカの多くの国ではゴミを処理する施設が整備され

ていないことから川や海にそのままゴミを流すそうだ。その影響で海や湾に面している、ギニアの水はきれいな青色ではなく茶色だそうだ。さらにギニアではその茶色くなった水を、自分の命のため飲まなければならないのだ。そんなギニアは現在でも茶色くなった水を飲み続けている。そのためギニア内でも年間約二千人もの人が汚い水を飲み、命を落としているのだ。私ははじめ、この問題に対して「自分にできることはないから、自分には関係ないから。」と思い他人事にしてしまった。しかし今考えると、二千人もの人の命が奪われていることを他人事だと思うのは間違いだ。二年前アフリカの海から、日本のプラスチックゴミが見つかったことがニュースになっていった。私はこのニュースを見て、あのときのことを本当に後悔した。「もしかしたら、私達日本人が他の国の人々の命を奪ってしまっていたのかもしれない。」と。

世界中できれいで美しい水、水環境を保っていくためには、ひとり一人の心がけがとても大切だ。例えば海や川にゴミを捨てないようにしたり、節水を心がけて行動してみるの、はどうだろうか。日本は世界とつながって

いる。だから、日本に住む私達も世界の水問題を他人事にするのではなく、水問題について考え行動していくことが大切なのだ。もしも私達が水問題を他人事にし続けていたら、今の日本にあふれているきれいな川、水でさえも誰にも知られずに忘れられてしまうのかもしれない。そうならないためにも、まずは水についてよく考えてみよう。そしてここでもう一度考えてみてほしい。あなたの身の周りにある水は何色か。世界にあふれている水は全て、きれいな色なのか。